

地形図のある学校図書館の創設 プロジェクト モニタリング学校図書館の募集

私たちの“まち”をもっと知りたい。
皆さんの思いを、地形図はかなえてくれます。

全国学校図書館に政府刊行基本図（地形図）を
備え置くことを目標に、
2023年4月からパイロット事業を開始しました。

モニタリング調査にご協力いただける、
紙地図の利活用にご興味のある学校を募集いたします。
応募いただいた学校の中から全国約70校を選定
図書館に約10万円相当の地形図等セットを
無償で提供させていただきます。（※）

※地形図等セットの利便性に関する意見や感想、児童・生徒の利活用状況に関するアンケート調査や、専門家によるヒヤリング調査にご協力いただけることなどが条件となります。

応募先：「地形図のある学校図書館の創設」

実行委員会事務局

（一社）地図協会（事務局：内外地図（株）（地図協会会員））

hanbai@naigai-map.co.jp

（一財）日本地図センター

chizukan@jmc.or.jp

上記のいずれかへ電子メールにてお問い合わせ、お申し込み下さい。



電子メールに、“モニタリング学校図書館希望”と記載し、
送信してください。

事務局より、募集要項や応募用紙を添えて、ご連絡申し上げます。

「地形図のある学校図書館の創設」実行委員会 事務局からお知らせ

2022年4月から新学習指導要領が施行され、全国の高等学校では、およそ50年ぶりに地理科目の必修化が始まりました。

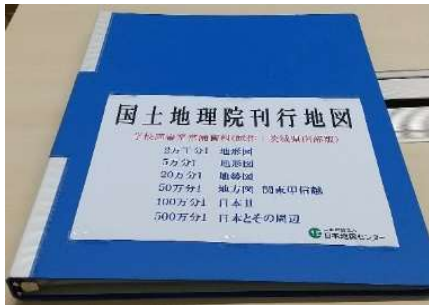
新学習指導要領に則り、地理的事象を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養うためには、小中学校から、さまざまな地図に触れ親しみ、その役割や有用性について理解することが重要です。文部科学省では、日常生活と結び付いた地理的技能を身に付ける手段として、国土地理院刊行の地形図（紙地図）の読図等を奨励しています。地形図は日本の領土・領海などのほか、私たちの住むまちの、地理・歴史・文化・産業・防災等を学ぶ際にも、極めて重要なツールとなります。さらに、古い地形図と新しい地形図を見比べると、地域の変革を知ることができ、アーカイブとしての価値もあります。

こうしたことから、今般、一般社団法人地図協会と一般財団法人日本地図センター（※）は実行委員会を立ち上げ、関係機関と連携し、全国の学校図書館にその地域の地形図等を常備するためのプロジェクトを進めております。

私たちは、2023年4月から、そのためのパイロット事業として、モデル学校図書館に対し、地形図等セット（地域の最新地形図、地域の旧版地形図、撮影年代ごとの地域の空中写真や衛星画像、これらの利活用方法を記した解説冊子等で構成されるプロトタイプ教材）を送付・配備し、利便性に関する意見や感想の収集、児童・生徒の利活用状況に関する効果検証のための調査を行います。

※一般財団法人日本地図センターは、地図利用の普及と地図に関する技術の発展に寄与することを目的として設立されました。一般社団法人地図協会は、政府刊行地図などの販売普及事業及びこれに関連する事業の円滑化を行い、地図情報の発展に寄与することを目的として設立されました。

地形図等セット 全体イメージ



<p>2万5千分1地形図 国土の全域をカバーする、わが国でもっとも縮尺の大きい地図です。土地の高低や起伏、水系、植生、集落、土地利用、鉄道、道路、建物等を正確に描画しています。平成25年に従来の3色刷りから多色刷りに変更され、新刊より順次切替えられています。1面の範囲は約10km四方で、全面を約4,400面でカバーしています。</p>	<p>5万分1地形図 2万5千分1地形図4面分を1面に編集した地図で、全国を1291面でカバーしています。更新を終了しています。</p>	<p>20万分1地形図 2万5千分1地形図64面の範囲を1面にまとめた地図で、全国を130面でカバーしています。</p>	<p>500万分1日本とその周辺 離島を含む日本の国土全体を1枚に収めた地図です。日本の領土全体や隣国との地理的な位置関係を一目で理解できます。日本語版のほか、地名をローマ字表記した国際版の2種類があります。</p>
<p>50万分1地方図 地方毎に全国を8面でカバーする地図です。4色刷りと7色刷りがあり、7色刷りには段彩（高さ毎に色分け表示）があります。</p>	<p>100万分1日本・INTERNATIONAL MAP 全国を3面でカバーする地図です。日本語版のほか、地名をローマ字表記した国際版の2種類があります。</p>		

最新地形図と空中写真の比較



新旧地形図の比較

